



チャーム臨海学校

文責 美代順子

6月11日（水）から13日（金）の2泊3日でチャーム臨海学校を実施いたしました。「Shine Together～未来へ羽ばたく5年生～」のスローガンのもと、一人一人が自分らしく輝くと共に、仲間と力を合わせて一緒に輝く大きな光となる、そんな思いをもって行動することのできた2泊3日となりました。

1日目は、オリエンテーリング、キャンプファイヤーを行いました。オリエンテーリングでは、班の仲間と協力しながら活動を進めることができました。途中雨に降られることもありましたが、その後天候も回復し、無事活動を終えることができました。キャンプファイヤーのセレモニーでは、火の女神より与えられた「協力」「輝き」「一致団結」「情熱」「思いやり」「挑戦」の火をそれぞれ灯しました。その火に照らされながら、学年全員でレクを楽しみ、最後には思いのこもったダンスで締めくくりました。学年のつながりがさらに深まる夜となりました。

2日目の午前には、砂の芸術祭を行いました。事前に、各学級でSDGsに関わる世界の課題について探究学習を行い、想いを発信することができるようなデザインに取り組み、当日を迎えました。どの学級も立派な砂浜アートが完成しました。また、事後学習では、これまでの学びや砂浜アートに込めた思いを壁新聞にまとめ、学校全体へ想いを届けました。

午後には、プラータピアン作りとクラスタイムを行いました。クラスタイムでは、それぞれの学級が力を合わせて楽しい時間を作り上げていました。最後の夜は、学年レクで大いに盛り上がりました。

最終日は、それぞれのお気に入りの場所で絵手紙を描き、その後展覧会を行いました。思い思いに臨海学校での素晴らしい景色を絵手紙に描き、仲間と共有しました。



この3日間のために、子供たちはたくさんの準備を進めてきました。臨海学校でのそれぞれの活動を通してはもちろんですが、それまでの学習や活動も素晴らしい経験となったのではないかと思います。そして、班やクラスの友達の間、学年の絆を深めることができ、子供たちは一回りも二回りも大きく成長できました。学年の仲間と共に臨海学校という宿泊学習を体験できたことは、小学校での大きな思い出の一つとして一生子供たちの心に残ると思います。

このような充実した臨海学校を行うことができたのも、保護者の皆様、スタッフの方々、関わってくださった多くの方々の温かいご支援とご協力があってこそです。心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

🌿 チェンマイ修学旅行 🌿

文責 瀧瀬 貴治

6月25日（水）から27日（金）にかけて、6年生はチェンマイへの修学旅行を実施しました。

今年のテーマは「幸せの種をまこう～一致団結！修学旅行を最高の思い出に～」。このテーマには、「仲間と力を合わせて過ごす時間の中で、一人一人が小さな“幸せの種”を見つけ、それを周囲に広げていってほしい」という願いが込められています。2泊3日という限られた日程ではありましたが、現地での文化体験や異文化交流、仲間との触れ合いを通じて、心に深く残る学びと感動に満ちた旅となりました。

【1日目】ランナー文化体験とナイトマーケット

チェンマイに到着した子供たちは、まずタイ北部に古くから伝わる「ランナー文化」の体験プログラムに参加しました。伝統的な太鼓や舞踊の鑑賞では、鮮やかな衣装や力強いリズムに目を輝かせながら本場の文化芸能に見入る姿が印象的でした。

その後は、「タウン」と呼ばれるお守りづくりに挑戦。色とりどりの毛糸や布を使って、自分だけのタウンを作りながら、地域の人々が大切にしてきた「幸せを願う心」に触れました。

夜にはチェンマイ名物のナイトマーケットを散策。班の友達とお土産選びを楽しみながら、現地の人々とのやりとりを通して、生きたタイ語や英語を使う場面も見られました。子供たちは「話が通じた！」「ありがとうって言ってくれた！」と笑顔で報告してくれ、言葉を越えた交流の楽しさを体感していたようです。



【2日目】現地校との交流と伝統工芸体験

2日目の午前中は、現地のメーワン・ウィッタヤーコム校を訪問し、チェンマイの子供たちとの交流会を行いました。はじめは緊張した面持ちでしたが、ゲームやダンスを通じて少しずつ笑顔が増え、次第に言葉の壁を越えて心が通い合っていました。「最初はうまく話

せなかったけど、ジェスチャーでも伝えられた！」「一緒に踊れてうれしかった！」という声が多く聞かれ、異文化を超えたつながりの温かさを感じることができました。

午後は、チェンマイの伝統工芸である「セラドン焼き」の絵付けと、手作り傘への絵付け体験に挑戦しました。集中して筆を動かし、自分の感性を表現していく子供たちの姿はとても頼もしく、ものづくりの楽しさと難しさ、そして職人の技術のすごさを肌で感じる貴重な機会となりました。

夕方には学年全体でのレクリエーションを実施。クイズ大会やレクリエーションゲームで盛り上がり、クラスや班を越えて笑顔があふれるひとときとなりました。



【3日目】寺院めぐりと文化センター見学

最終日は、チェンマイの歴史と信仰について学ぶために、2つの寺院を訪れました。美しく整えられた寺院の中を歩きながら、現地の人々の信仰心や文化の根底にある価値観に触れることができました。静かに手を合わせる姿や、ガイドさんの話を真剣に聞く表情から、子供たちがその場の空気をしっかりと感じ取っていることが伝わってきました。



その後に訪れたカルチャーセンターでは、チェンマイの伝統衣装や生活道具、建築などを展示で学び、旅の締めくくりとして地域文化への理解をさらに深めました。

🌱 修学旅行を通して育まれた力

今回の修学旅行では、現地での体験だけでなく、事前の準備活動にも力を入れて取り組みました。行程の確認や係活動、班別の行動計画を自分たちで立てる中で、「自分の役割を果たす」「相手の意見を聞く」「安全を意識して行動する」といった力を自然と身につけていきました。そして何より、仲間と共に過ごす時間を通じて、一人一人が思いやりの心や協力の大切さを実感し、大きく成長する姿を見ることができました。教職員一同、その成長に深い感銘を受けています。

今回の旅でまかれた“幸せの種”は、きっと子供たちの心の中で大切に育まれていくことでしょう。保護者の皆様におかれましては、事前の準備や健康管理など多方面に渡ってご協力いただき、心より感謝申し上げます。子供たちにとって、生涯忘れられない思い出と学びの詰まった3日間となりました。